

総合討論

木村 隆彦¹⁾, 大倉 和子²⁾

¹⁾保健医療学部救急救命学科, ²⁾看護学部看護学科

総合討論では、南丹エリアにおける地域医療と地域防災をテーマとして、本学が推進すべき研究・教育の在り方と地域貢献を視野に入れた地域との関わり方について議論する。

研究委員会が主催であることから、防災分野では、災害発生時に大学が組織的に展開する避難所設置等の行動や必要となる備蓄、また災害派遣といった、災害実務・活動要領に関する事項は、議論の対象としないことにご容赦いただきたい。

また、防災は「救急救命学」の範疇であるという思い込みがある。防災の中での「救急」は応急手当に関する部分に限定されており、また災害時の活動をみても、「救急」は必要とされる膨大な活動の中の1つにすぎない。むしろ、鍼灸、柔道整復、看護などの日常業務の中で繰り上げられる市民とのコミュニケーションの場は、防災の最前線であることという認識に立ち、本学研究者による横断的な議論を期待している。